



## 学校発信情報

# 「まなぶん」

このコーナーは、町内の小・中学校における特色ある教育活動や取り組みを紹介するコーナーです。

また、愛称の「まなぶん」は、「学ぶ」と地図記号で学校を表す「文」をあわせたものです。町内小学校10校・中学校5校を連載でご紹介しています。

### 学校データ

(6月1日現在)

校長	大川 英雄
教頭	濱田 有子
教員数	2人
事務生	1人
児童数	10人
学級数	3学級

## 《姉別小学校》

～「元気のある学校」です～

「元気のある学校」をめざし、元気な頭・元気な心・元気な体を重点に、「しっかり考える」ことを大切にしています。本校の特色ある教育活動の一つに、自然や文化、人とのふれあいを大切にした体験活動があります。総合的な学習の時間において、「人との関わり」「地域との関わり」「自分との関わり」の三つの大きなテーマのもと、さまざまな体験活動をと



として、しっかり考え、自分の学びを展開できるようにしています。「人との関わり」として、地域の老人クラブの方々と学校農園の畑おこし、収穫作業、おぼろ昆布かきなどの体験活動を行っています。また、町の外国語助手との交流から国際理解を深めています。「地域との関わり」では、今年度、浜中町の海岸で生き物の観察や磯遊びをする予定です。

子どもたちは本物に触れて感動したり、実感を伴った学びの楽しさを味わったりしながら、毎日元気に頭と心と体が育っています。



## 私たちの町の高等学校 霧多布高校通信 No. 109

## 汗と涙の結晶！ 文武両道で真剣勝負

霧高では現在、体育系6、文化系6、計12の部・局・同好会・愛好会が活動しています。全校生徒の78.4%が加入しており、学校全体が若い力で満ち溢れています。

5、6月は体育系部活動の大会シーズンであり、3年生にとっては泣いても笑っても最後の大会となります。連日、生徒と顧問が一体となって力が入った練習を行い、5月19日の壮行会で決意表明をして大会に臨みました。先日行われた高体連各種大会では、男女バスケットボール部、バドミントン部、陸上部の各部が熱戦を繰り広げ、ベストを尽くし奮闘しました。その中でも、陸上部は12人が全道大会出場権を獲得し、6月末に高野連夏季大会に臨む野球部と共に、素晴らしい活躍ができるよう学校全体で期待しています。

また、6月2日から4日にわたり前期中間考査が行われました。存分に力を発揮できた生徒も、悔しさが残る結果になった生徒も、今回の結果をしっかりと見つめ、また次の目標に向かって、文武両道で励んでいってほしいです。



## 第24回 浜中町少年の主張大会

少年の主張大会が、5月29日に総合文化センターで開催され、町内中学校の代表14人が参加し、学校生活や日常生活の中で体験したこと、日頃思っていること、そして将来に向けて考えていることなどを主張しました。

当日は、先生や同級生、保護者など130人を超える多くの人に応援に駆けつけ、やや緊張気味に発表する生徒たちの声に耳を傾けていました。

審査の結果

最優秀賞 島 脇 弥 生さん（霧多布中2年／写真中央）

優秀賞 谷 口 里 香さん（姉別南中3年／同右）

掛 水 ちひろさん（茶 内中2年／同左）

また、最優秀賞の島脇さんは7月27日(火)に釧路市で開かれる釧路総合振興局地区大会に浜中町の代表として出場いたします。



### 最優秀賞 『先輩』

先輩。この言葉を聞くと、身が引きしまる思いがする。中学二年生になった今、私は先輩になった。自分が思っていた先輩の姿に、今の自分の姿は近づいているのだろうか。

「昔の先輩はすごかった。」と話してくれたのは私の母だった。母が思い出す先輩の姿と言えば、短ラン・ボンタン。今では聞きなれない言葉だが、昔は制服を自分で改造して、上着を短くし、ダボダボのズボンをはいていたそうだ。そして、手には木刀を持っていくとのこと。先輩は教室から出ることも、トイレに行くこともまともにできないほどだったそうだ。先輩の言うことは絶対。たとえそれが間違っていたとしても、従わないと大変な目にあう。今の私たちは、木刀を持って歩いている先輩の姿なんてうまく想像できないし、短ラン・ボンタンのカッコよさも分からない。

しかし、自分が先輩になり、初めて後輩というものができた今、「先輩としてカッコつけたい」という気持ちにはわかる。制服だって、一年生のときのままスカートの長さとダサいように感じる。たくさんある行事でも、先輩としての風格を見せたいし、できれば力の差を見せて、すごいと思っていきたい。

この様に考えていく中で、一つの疑問がわいてきた。それは先輩としてカッコつけるという事は、外見だけのことなのか。私は一体どのような先輩になりたかったのか。一年生のころ、明らかに間違った事を言っていた先輩がいた。その先輩が「そうですよねー！さすが先輩！」と言っている人がいた。また、ある人は、「あの先輩に何か言ったら目をつけられそう。」と言っていた。それを聞いていた私は何が本当に正しいことなのか、分からなくなってしまう。



### 霧多布中学校二年 島脇 弥生

それと同時に、もし自分が先輩になった時に、後輩からその場しのぎで、本心とは違うことを言われ、わざと持ち上げられることを言われたら、とても悲しいと思う。そして、先輩としての変な圧力をかけるのも、違うと思った。もし私が先輩になり、そういう状況になったら、「自分の意見があるなら何でもいいんだよ。」と後輩に声をかけるだろう。「私」という中身を見ないで、ただ単に「後輩」として上辺だけで接してもらおうほど、悲しいことはない。もしそうだとしたら、何も生まれないと私は思う。

人と人との関係作りはそう簡単ではないということには分かっている。時には人に合わせることも必要だ。それが年上の人の意見なら、なおさら合わせる方が簡単だろう。それに人に対して正しいことを伝えるというのは、とても難しいことだと痛感している。

しかし、私は「正しいことは正しい、間違っていることは間違っている」ときっぱり言い合える関係作りをしていきたい。それを教えてくれたのは私の両親だ。二人は私が幼い時から良いことと悪いことを教えてくれた。時には厳しいと感じることもあったが、それがあつたからこそ、今の私がいる。そしていつでも話を聞いてくれる人が近くにいたから、安心して生活をすることができた。

私は自分の行動に責任を持ち、本当に大切なことは何かを考えられる人になりたい。そしていつでも話を聞いて、周りの人との信頼関係を築いていきたい。それが先輩になった今、私のできることでもあり、すべきことだと思っている。

先輩。本当の意味での「先輩」の姿に近づけるよう、私はこれからも一歩ずつ進んで行く。決して上辺だけの先輩にはなりたくない。



## 学校教育からの情報コーナー

6月には各学校で運動会が開催されました。子どもたちは、全力で走ったり、仲間と協力して演技したり、日頃の運動の成果を発揮し、成長した姿を見せてくれました。また、それぞれの地域で特色のある競技があり、保護者や地域の方々が積極的に参加し、子どもと学校と地域が一体となった素晴らしい運動会でした。



シンクロパフォーマンス<西円朱別小学校>



巨大なバック絵と応援合戦<散布小中学校>



榊町ふる里太鼓<榊町小学校>



地域・職場・グループ対抗リレー<浜中小学校>



1・2年生遊戯「勇気100%」<茶内小学校>



優勝して歓喜あがる閉会式<姉別南小中学校>

## 体力・運動能力、運動習慣等調査を実施します!~各小・中学校~

◇目的 浜中町の子どもの体力・運動能力、運動習慣等の実態を把握し、学校・家庭・地域の取組成果と課題を明らかにし、子どもの体力向上や運動習慣の確立に役立てる。

◇対象 町内小学5年生と中学2年生(調査対象以外の学年で実施する学校もあります。)

◇調査期間 平成22年の5月~7月末までの期間

◇調査内容 ①体格(身長、体重、座高)  
②体力・運動能力(新体力テストの8種目)  
③運動習慣等の質問紙調査(学校や家庭での運動の状況や生活習慣、運動への取り組み方等)

### 新体力テストとは

- ①握力…腕を下げて左右の握力を握力計で測定=<筋力>
- ②上体起こし…伏臥から上体を起こした回数(30秒)=<腹筋・筋持久力>
- ③長座体前屈…足を伸ばして座った姿勢から前屈した距離=<柔軟性>
- ④反復横とび…3本のラインを順に跳んで跨いだ回数(20秒)=<敏捷性>
- ⑤20mシャトルラン…20mの間隔を折り返し走った回数=<持久力>
- ⑥50m走…短距離走のタイム=<走力>
- ⑦立ち幅とび…両足で前方へ跳んだ距離=<跳躍力>
- ⑧ソフトボール投げ(小学生)…ソフトボール1号を投げた距離=<投球力>  
ハンドボール投げ(中学生)…ハンドボール2号を投げた距離=<投球力>

## 7月は『青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間』です!

6月9日に総合文化センターで、浜中町青少年健全育成町民会議総会が開かれ、「青少年を取り巻く環境が大きく変化する中で、青少年を良く理解し、支え、育てていくことは、家庭・学校・地域社会全体の責務であり、「青少年の育成は大人の責任である」ことを自覚し、大人自らが姿勢を正し、規範意識やモラルの向上に努めると共に、青少年が心豊かにたくましく成長するよう努力することが必要」と各団体の代表などが確認しあいました。

強調月間では、みなさんの地域、家庭、身近なところから「青少年への愛のひと声運動」を実践しましょう。

### 『青少年への愛のひと声運動』

- にっこりほほえんで、声をかけよう  
「おはよう」「こんにちは」
- 悪いことをしていたら、本気になって  
「やめなさい」「だめですよ」
- 良いことをしていたら、心をこめて  
「えらいね」「ありがとう」  
みんなでかけよう愛のひと声  
大人が育てる地域の子  
愛の言葉で育てよう。



## 新着図書案内



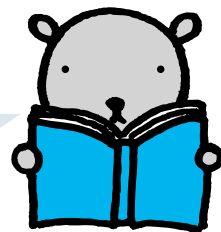
<p>『おしゃれプリンセス ミューナ』 山本 省三／作 おおた うに／絵 (児童書) ボーイッシュな小学生女子『みな』には、もうひとつの顔が。それは、大人気のカリスマデザイナー &amp; モデルのおしゃれプリンセス ミューナ。だれにもひみつだよ。</p> 	<p>『スパゲッティになりたい』 おいかわ けんじ たけうち まゆこ／作 (児童書) 「ぼくスパゲッティになりたい…」男の子の愉快的空想は、歯ブラシ、お弁当、ヨット、カスタネット…どんどん、ふくらんでいきます。みんなは何になりたい？</p> 	<p>『2010年版 子どものニュースウイークリー』 読売新聞社会部／編 (児童書) エコポイント制度、広がる薬物汚染、普天間基地問題、事業仕分け…。大人にニュースを教えちゃお！2008年10月から2009年12月までの注目ニュース50本。</p> 
<p>『スーザン・ボイル 夢かなって』 アリス・モンゴメリー／著 (一般書) オーディション番組に出場、その地味な外見からは想像もつかない美声を披露し、一躍世界的スターとなった。その生い立ちから、見事夢をつかむまでを描く感動的伝記。</p> 	<p>『極北クレイマー』 海堂 尊／著 (一般書) 市の財政破綻、赤字5つ星の極北市民病院に非常勤医の今中がやってきた。ずさんな管理、謎めいた医療事故、病院閉鎖の危機…。医療崩壊の現場を再生できるか。</p> 	<p>『今日はワンプレートごはん』 井上 由香里／著 (一般書) カフェに行くと思わずたのんでしまうランチプレート。そんなワンプレート料理がおうちで楽しめるように、洋風・和風・エスニックのアレンジに分けて紹介。</p> 
<p>                 &lt;&lt;児童書&gt;&gt; 『ものしり なぜ？なに？どうして？』 妖怪アパートの幽雅な食卓 香月 日輪／著                  『ちいちゃんのたからもの』 『チョコレートパン』 長 新太／作                  杉浦 さやか／著                  &lt;&lt;一般書&gt;&gt; 『SOSの猿』 伊達 友美／著                  『だいこん』 山本 一力／著                  『伊達式食べやせレシピ』                  『一年中着たい！ワンピースとスカート』 成美堂出版／編                  『おりがみでおまごど』 いまい みさ／著             </p>		

## ～ 図書室ボランティア募集中！～

総合文化センター図書室では、図書に関するボランティアを募集しています。

- ・活動日時：毎月第3土曜日 午前10時～正午
- ・場 所：浜中町総合文化センター図書室
- ・対 象：中学生以上の町民
- ・内 容：図書室の飾りつけ、ブックカバーかけ、読み聞かせなど
- ・募集期間：いつでも！（当日の参加も大歓迎！）
- ・お問い合わせ：浜中町総合文化センター Tel 0153-62-3131

楽しい図書室を  
みんなで作ろう！



## 「絵本らんど・おはなしタイム」のお知らせ

総合文化センター（2階・図書室）午前11時より

7月10日（土）

7月24日（土）

紙芝居『まほうでばけくらべ』  
絵 本『おおきくなったら』  
絵 本『おたんじょうび おめでとう』

紙芝居『ハンスのしあわせ』  
絵 本『プレゼントはなあに』  
絵 本『さよなら さんかく』